

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 4 週(1 月 19 日～ 1 月 25 日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

！！インフルエンザ警報発令中！！

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

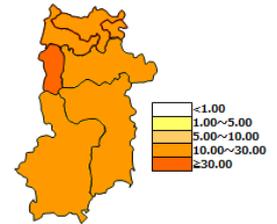
順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	24.72	(26.11)	➡	➡	↗	➡
2	感染性胃腸炎	4.50	(4.21)	➡	➡	➡	➡
3	RS ウイルス感染症	1.41	(1.15)	⬇	⬇	⬇	⬇
4	A群溶連菌咽頭炎	1.24	(1.09)	↗	↗	↗	⬇
5	水痘	0.65	(0.18)	➡	➡	➡	⬆

発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**⬇やや減少**、**⬇減少**

◆ 県内概況 ◆

インフルエンザ警報発令中です。先週と比べると報告数はやや減りましたが、依然としてかなり多い状況です。特に、葛城保健所管内での流行が顕著です。インフルエンザは飛沫感染や接触感染で感染が広がります。引き続き手洗いうがい、咳エチケットやマスクの着用を心掛けてください。

また、年明けから少し落ち着いていたRSウイルスが、再び増えてきています。近畿では和歌山県に次いで多い報告数です。患者は3歳児未満が85%を占めています。子どもたちが日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤で消毒し、手洗いを励行しましょう。また、大人も気付かないうちに感染していることがあるため、乳幼児に接する際にはマスクを着用することも効果的です。



インフルエンザ
保健所別定点当たり報告数

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは、年末がピークであったようで、増加傾向には無い。正月で一旦減少していたRSウイルス感染症が再び保育園児で増えてきている。感染性胃腸炎も小流行が続いている。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加傾向にあるものの超混雑という事はない。
 インフルエンザの流行が続いているが、軽症例が多く無熱の例や、家族内でも全員に蔓延しない家族も多い。2才女児でB型が検出された以外すべてA型。タミフル等の耐性例も見られていない。
 ノロ様の感染性胃腸炎がある。ワクチンの効果か、今冬ロタは見られない。
 他に水痘、A群溶連菌感染症がすこしばつ見られる。
 伝染性紅斑が1例あった。
 手足口病、アデノが流行との幼稚園の情報があり。2才女児の手足口病が1例あった。

南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザの流行は続いている。A型のみで、タミフル耐性と思われるものはない。
 ノロ(+)の胃腸炎の小流行もみられている。非典型的なインフルエンザも多く、早期診断の困難な場合がある。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 4 週 1 月 19 日 ~ 25 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	1335 (24.72)	266 (24.18)	349 (21.81)	228 (20.73)	403 (36.64)	31 (15.50)	58 (19.33)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	48 (1.41)	14 (2.00)	8 (0.80)	14 (2.00)	10 (1.43)	1 (1.00)	1 (0.50)	
咽頭結膜熱	10 (0.29)	3 (0.43)	5 (0.50)		2 (0.29)			
A群溶連菌咽頭炎	42 (1.24)	13 (1.86)	15 (1.50)	7 (1.00)	6 (0.86)		1 (0.50)	
感染性胃腸炎	153 (4.50)	37 (5.29)	42 (4.20)	32 (4.57)	34 (4.86)	5 (5.00)	3 (1.50)	
水痘	22 (0.65)	5 (0.71)	8 (0.80)	1 (0.14)	6 (0.86)	2 (2.00)		
手足口病	10 (0.29)		5 (0.50)	2 (0.29)	1 (0.14)		2 (1.00)	
伝染性紅斑	7 (0.21)	2 (0.29)	3 (0.30)	1 (0.14)	1 (0.14)			
突発性発しん	13 (0.38)	3 (0.43)	5 (0.50)	3 (0.43)	2 (0.29)			
百日咳	1 0	1 0						
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.14)	2 (0.20)					
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎							-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎							-	
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)				-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1 (0.17)	1 (1.00)					-	

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 6件(奈良市 1、郡山 3、桜井 1、葛城 1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症 2件(郡山 2)

❖ 第 4 週のトピックス ❖

◆中東呼吸器症候群(MERS)に関するQ&Aが更新されました
(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/mers_qa.html

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	3	3	24	30	39	37	48	40	42	27	38	104	37	28	32	36	33	18	11	8	638	2244
	女	3	13	27	21	27	42	59	42	47	32	21	93	40	34	64	39	38	22	19	14	697	2331
RSウイルス感染症	男	1	2	7	3	3	3						3									22	71
	女	3	6	6	4	6					1												26
咽頭結膜熱	男		2	3			1		1		1											8	23
	女			1		1																2	10
A群溶連菌咽頭炎	男			1	2	1	4	3	3	2	1	3		1								21	71
	女				1	1	1	3	5	2	1	2	3		2							21	53
感染性胃腸炎	男		5	14	14	7	7	7	2	1	3	3	5	6	15							89	274
	女		1	13	7	7	2	2	2	4	1	4	2	3	16							64	214
水痘	男			1	2	3	1	1					3									11	29
	女			1	2	3	1	1		2	1											11	27
手足口病	男			1	3	1	1															6	19
	女			1	1	1	1	1														4	14
伝染性紅斑	男				1		1	1				2										5	7
	女						1				1											2	2
突発性発しん	男		2	4	1	1																8	22
	女		1	3	1	1																5	14
百日咳	男										1											1	1
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						1
	女																						
流行性耳下腺炎	男									1												1	8
	女												2									2	9
急性出血性結膜炎	男																						7
	女																						
流行性角結膜炎	男																						14
	女																						
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男																						2
	女			1																			2
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						3
	女			1																			2

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均

